

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(平成29年度事業分)

1 施設の概要

施設名	山梨県立防災安全センター	所管課	防災局 防災危機管理課
所在地	中央市今福991	設置年月日 (改築年月日等)	昭和57年4月1日
指定管理者	一般財団法人山梨県消防協会		
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立防災安全センター設置及び管理条例		
設置目的	県民に、防災に関する展示・体験等により、防災知識の普及・啓発を行うこと。 防災用資機材を備蓄すること。		
主な施設内容 (定員等)	<ul style="list-style-type: none"> ○敷地面積 6,179.16㎡ ○建築面積 1,030.76㎡ ○建築延面積 1030.76㎡ ○建物の構造 耐震性鉄筋コンクリート造、平屋建て ○施設の内容 事務室、訓練実習室、視聴覚室、展示・体験フロア、車庫・備蓄庫、機械室 		
主な業務内容	<ul style="list-style-type: none"> (1)体験設備、展示品を活用した防災知識の普及啓発に関する業務 (2)地域防災力の向上及び防災用資機材の使用方法等に関する研究 (3)防災に関する文献、写真等の収集、保管及び展示 (4)防災用資機材の備蓄及び保管 		

2 類似施設・近隣施設

名称 施設内容 利用状況等	
---------------------	--

3 利用状況

単位：人、%

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度 (目標値)
利用者数	入館者数	3,997	4,444	4,177	
	出張講座受講者数	13,007	15,374	14,853	
	防災指導車利用者数	16,829	19,197	17,467	
	利用者数合計	33,833	39,015	36,497	
	目標値	42,000	36,000	40,200	37,600
	目標値設定の考え方及びその理由	H24～H25 ・入館者数:3,800人、出張講座:8,000人、防災指導車:15,000人 H26～H27 ・入館者数:5,800人、出張講座:15,800人、防災指導車:20,400人 H28 ・入館者数:4,100人、出張講座:14,000人、防災指導車:17,900人 H29 ・入館者数:4,600人、出張講座:15,800人、防災指導車:19,800人			
	対27年度比		115.3%	107.9%	
利用率(防災指導車)	47.7%	49.4%	50.0%		
利用率(視聴覚室)	52.0%	50.6%	50.0%		

4 指定管理業務の収支状況

単位：円、%

		平成28年度	平成29年度 (計画値)	平成29年度 (実績値)	平成30年度 (計画値)
収入	施設利用料	0	0	0	0
	指定管理者委託料	14,566,000	14,566,000	14,566,000	14,566,000
	その他	0	0	0	0
	収入合計(A)	14,566,000	14,566,000	14,566,000	14,566,000
支出	人件費	6,913,000	7,343,000	6,795,000	6,789,000
	県への納付金	0	0	0	0
	管理運営費	4,799,000	7,223,000	6,984,000	7,777,000
	うち外部委託費(B)	464,000	617,000	832,000	617,000
	支出合計(C)	11,712,000	14,566,000	13,779,000	14,566,000
収支差額(A-C)	2,854,000	0	787,000	0	
外部委託比率(B÷C)	4.0%	4.2%	6.0%	4.2%	
利用者一人当たりの経費	373.3	362.3	399.1	387.4	

5 利用者満足度

実施方法等	実施時期:平成29年4月～平成30年3月 実施方法:事業参加者・貸館利用者へのアンケート 回答数:146人
-------	---

単位:%

調査項目	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満
体験の充実度	98.0%	2.0%	0.0%	0.0%
展示・説明の解り易さ	81.0%	19.0%	0.0%	0.0%
施設全般の満足度	86.3%	13.7%	0.0%	0.0%

利用者の意見	<p>①県内にこのような施設があることを初めて知った。お知らせが必要と思った。</p> <p>②全校での参加のため高学年や教員には大変勉強になったが、低学年には少し難しかった。</p> <p>③「簡易トイレの作り方、地震の体験がとても勉強になりました」「自助・共助・公助の説明がとても理解できた」「災害について、良くわかったので、この体験を家族に伝えたい」「実践的な講義で役に立った」「家に帰って、非常持ち出し品や備蓄品の見直しをしたい」など。</p>
利用者の意見への対応	<p>①新聞広告等により広報を行っている。引き続き広報等により周知に努める。</p> <p>②全校を対象にする場合は、低学年にも分かりやすい説明に努める。</p> <p>③引き続き、自助、共助等の重要性や災害の備え等に役立つ説明に努める。</p>

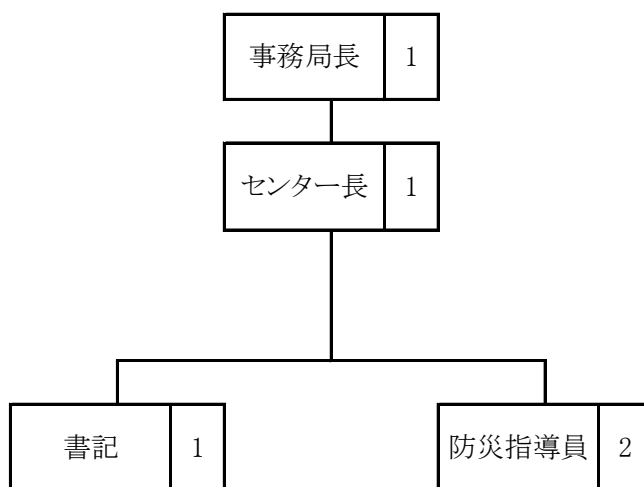
6 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	来館者に快適に見学してもらえるよう、施設及び設備について日常的に点検を実施し適正に管理している。	管理業務計画書等により業務は遂行されている。
運営業務	出張講座の体験事業をメインに防災対策の普及・啓発に努めている。	管理業務計画書等により業務は遂行されている。
利用状況	利用者数合計の実績値(36,497人)は、目標値(40,200人)には達しなかったものの、防災指導車の積極的な派遣等により、前年度の94%の利用者数を実現することができた。 今後は、自主事業の充実等により入館者数の増加を図るとともに、防災指導車の活用等により出張講座受講者数の増加を図り、全体の利用者数が増加するよう努めていきたい。	引き続き、予約日程の調整やホームページの内容充実、積極的な働きかけにより、体験事業の実績向上に努められたい。 特に、防災指導車(起震車)のPR等を通じて、利用者の受入れを積極的に図って頂きたい。
収支状況	人件費などの義務的経費の比率が高い中、各支出について点検し、経費の節減に努め対応している。	今後も、各支出について点検し、適正な事業計画の策定と、より一層の効率的な運営に努めて頂きたい。
自主事業	女性、高齢者、自主防災組織の構成員、地域住民等を対象として、受講者の特性に応じた防災講座を実施し、合計で48人の参加を得た。	受講者の特性に応じた研修を実施することは有効である。引き続き研修参加者の拡大に努め、より良い内容にして頂きたい。
利用者満足度	ほぼ全員が「満足」・「どちらかといえば満足」してくれたので、成果が出たものと評価する。	利用者の満足度は高いと判断する。引き続き、利用者の意見収集を行い、多様化するニーズを汲み取り、サービス向上につなげて頂きたい。

<p>運営目標の達成状況</p>	<p>防災安全センターを、住民の生命と暮らしを守るための防災知識が習得できる施設として運営し、一人でも多くの県民に防災の知識と体験を提供できるようにすることが目的であるため、利用者数を運営目標としている。</p> <p>平成29年度においては、利用実績は、目標値40,200人に対して実績値36,497人(達成率90.8%)となり、目標値を下回ったが、平成26年度から徐々に増加しており、評価できる水準にあると考えられる。また、利用者満足度も80%以上であり、その運営内容も評価できる。</p>
<p>施設所管課による総合的な評価及び指導事項</p>	<p>定期的に現地へ赴き、実施状況を確認している。</p> <p>利用実績については、防災指導車を平成27年度に更新したことにより、防災指導車利用者数が大きく増加し、以降その水準を維持しており、利用者からの評価も良好である。利用者数の増加に繋がるような継続的な取組を図ることが必要であることから、出張講座の訪問先を拡大するよう指示した。</p> <p>また、切迫性が指摘される南海トラフ地震や富士山噴火などに的確に対応できるよう、これまで以上に防災知識の普及啓発、利用者サービスの向上、施設等の維持管理に取り組む必要がある。</p>
<p>施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況</p>	<p>利用実績は、平成26年度から徐々に増加している。利用者の満足度も高い中で、熊本地震や岩手県の台風災害、糸魚川大火の被災地の写真や、避難所の再現模型を展示するなど、センター展示品の刷新も図っており、防災知識の普及・啓発に貢献していると考えられる。</p> <p>また、防災指導車については、東日本大震災の揺れを再現できるなど、平成27年度に最新型の機能を搭載した車に更新し、ショッピングセンター等へ出張講座も積極的に実施していくことを予定しているため、今後も利用者の増加が期待できる。</p>

7 管理体制(組織図)

平成29年4月1日現在



事務局長	1人
センター長	1人
書記	1人
防災指導員	2人
合計	5人